

# 未来につなぐ 「100年先の森林づくり」の推進

清流の国ぎふ  
マスコットキャラクター  
ミナモ



清流の国ぎふ  
ミナモ通信

緑豊かな岐阜県。

この恵みを次の世代に引き継いでいくことは、私たちの大切な使命です。

県では、昨年10月に開催した「第39回全国育樹祭」を契機に、豊かな環境、資源、文化を育む「100年先の森林づくり」に取り組んでいます。

皆さんと一緒に、人と森のこれからについて考えませんか。

■問／県庁林政課 ☎058(272)8471

## 100年先の森林づくりシンポジウム 「ともに考える『森』、これからの100年」

全国育樹祭で全国に発信した、次の世代に豊かな自然を引き継ぐ「100年先の森林づくり」について、県民の皆さんとともに考えます。

◇場所／ぎふ清流文化プラザ「長良川ホール」(岐阜市学園町3-42)

◇日時／平成29年1月28日(土) 13:00~16:00

### 森のこれからを考えました

## 全国育樹祭1周年・ 全国植樹祭10周年記念大会

10月9日に行われた大会では、記念碑の除幕や植樹をはじめ、竹下景子さん(俳優、全国植樹祭総司会・全国育樹祭進行役)、涌井史郎さん(県立森林文化アカデミー学長)、井上恭介さん(NHKエンタープライズ エグゼクティブプロデューサー)によるトークセッションを実施。「岐阜の次の世代の育み方を、森や山とともに考えていきたい」「人が生きていくうえで、木は不可欠である」「五感を使う大切さを教えてくれるのは自然。幼児期から森や虫などに親しんでもらいたい」など、「100年先の森林づくり」について、議論を深めていただきました。

今後は地域の皆さんからご意見をいただきながら、100年先に向けて望ましい未来の姿を描く「100年の森林づくり計画」を進めていきます。



記念碑を  
見に来てね



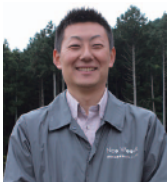
### インタビュー

## 未来に向けた森づくり

「100年先の森林づくり」を推進する岐阜県。根尾の広葉樹活用プロジェクトはその一端を担っています。

### 木の新たな価値を生み出す

良材でありながら、木材として扱われてこなかった規格外広葉樹の価値を見直そうと、有限会社根尾開発、株式会社カネモク、オークヴィレッジ株式会社が協力し、根尾の広葉樹活用プロジェクトを立ち上げました。それぞれが木材の生産、製材・乾燥、加工・販売を事業としていて、異なる分野を生かした森づくりが始まっています。有限会社根尾開発の小澤建司さんは「実際に足を運んで使える木を吟味してもらいました。これからも異業種と組み、知恵を取り入れたい」と目標を掲げます。



(有)根尾開発代表取締役  
小澤建司さん

### 人と森をつなぎます

## 木育拠点の整備

県では、豊かな自然の恵みや多様な木材を体感し、森林を守り育てる人材を育成するため、「ぎふ木育」を進めています。市町村などによる児童館や図書館や図書館内への「ぎふ木育ひろば」の設置に加え、県民の皆さんが身近に「ぎふ木育」を体験できる総合拠点を整備します。

◇開設場所／岐阜市宇佐(県図書館隣接)

◇オープン／平成31年度(予定)



「ぎふ木育ひろば」

## 揖斐川町 森のようちえん

揖斐川町では、全国育樹祭を契機に「森のようちえん」という、自然体験を軸とした子育て世代の自主保育を行っています。

子どもたちは森に囲まれた環境の中で、木に吊ったロープを渡ったり、虫やミミズとふれあうなど、工夫しながら自由に自然とのふれあいを楽しんでいます。



## アベマキ学校机プロジェクト

美濃加茂市の里山に群生するアベマキを活用しようと、県立森林文化アカデミー、美濃加茂市、可茂森林組合、美濃加茂市立山之上小学校、株式会社丸七ヒダ川ウッド、岐阜県森林研究所が参加。傷が付きにくいという強みを生かし、学校机の天板に用いる活動が進められています。5年生は伐採や製材所を見学し、6年生は天板の製造を体験。完成品は新一年生に送られ、ものを大切にする心を育むとともに、地域に関心を持つきっかけをつくっています。

